



# 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月29日

上場会社名 株式会社 コーエー

上場取引所 東

コード番号 9654 URL <http://www.koei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員会長CEO

(氏名) 伊従 勝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長CFO

(氏名) 浅野 健二郎

TEL 045-562-8111

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,481	—	1,047	—	2,014	—	1,106	—
20年3月期第1四半期	4,413	56.5	8	—	2,145	—	1,249	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	16.37	16.37
20年3月期第1四半期	18.49	18.49

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第1四半期	64,601	845.97	57,874	845.97	88.5	845.97
20年3月期	64,582	848.72	58,055	848.72	88.8	848.72

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 57,150百万円 20年3月期 57,335百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	12,100	—	2,800	—	4,300	—	2,900	—	42.93
通期	30,000	3.0	7,000	5.5	10,500	2.2	6,500	23.7	96.22

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 68,650,510株 20年3月期 68,650,510株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,096,066株 20年3月期 1,095,736株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 67,554,630株 20年3月期第1四半期 67,550,404株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

(2)当連結会計年度より「四半期連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

グローバル経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱、資源価格や食糧価格の高騰などにより、先行き不透明感が強まっております。

しかしながらゲーム業界においては、これらの影響は軽微にとどまり、Wii、プレイステーション3、Xbox360等の据置型ゲーム機や、ニンテンドーDS、PSP等の携帯型ゲーム機の普及が順調に進み、それに伴い、ゲームソフトの販売も好調に推移しております。

このような状況下、当社グループは、「世界 No.1 のエンターテインメント・コンテンツ・プロバイダー」を目指し、多様化する消費者ニーズを的確にとらえたビジネスを展開し、ブロードバンド・ネットワークを活かした製品開発に積極的に取り組んでまいりました。また、グローバルでのプロモーション強化やマルチプラットフォーム展開によるプレゼンス拡大と販売強化を図りました。

当第1四半期は、ゲームソフト事業においては、「無双 OROCHI 魔王再臨」(PS2用)、「遙かなる時空の中で4」(PS2/Wii用)を発売し、好調な販売を続けております。「無双 OROCHI」シリーズにつきましては、累計出荷本数が150万本を突破し、当社の新たなブランドとして確立いたしました。また、通信対戦を強化した波瀾盤上ストラテジーゲーム「国盗り頭脳バトル 信長の野望」(DS用)を発売するなど、新たな取り組みも積極的に行っております。

オンライン・モバイル事業においては、MMOアクションゲーム「真・三國無双 Online」の中国・台湾地域におけるサービスを開始したほか、モバイルコンテンツ「Mobile 三國志4」を各携帯電話事業者向けにリリースいたしました。また、当社初のMMORPG「信長の野望 Online」は、国内にてサービス開始5周年を迎え、引き続き多くのお客様にお楽しみいただいております。

メディア・ライセンス事業においては、4月より放映開始したテレビアニメ「ネオ アンジェリーク Abyss」が好評を博しておりますほか、6月にファン向けイベント「ネオロマンス・ライブ 2008 Summer」を開催し、約2万人を動員いたしました。

以上の結果、当第1四半期は、売上高54億81百万円(前年同期比10億68百万円増)、営業利益10億47百万円(同10億39百万円増)、経常利益は20億14百万円(同1億30百万円減)、四半期純利益は11億6百万円(同1億43百万円減)となりました。売上高および営業利益は、第1四半期決算において過去最高を達成いたしました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して19百万円増加し646億1百万円となりました。売掛金が30億32百万円減少し、投資有価証券が37億88百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末と比較して2億円増加し67億27百万円となりました。短期借入金8億50百万円、未払金が13億66百万円それぞれ増加し、未払法人税等が14億58百万円、買掛金が5億2百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億81百万円減少し578億74百万円となりました。利益剰余金が配当金の支払により20億26百万円減少した一方、四半期純利益により11億6百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が7億97百万円増加したことによるものであります。これらの結果、自己資本比率は88.5%となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期発売予定タイトルの開発が予定通り進捗していることから、業績予想につきましては、平成20年3月期決算発表時点(平成20年5月13日)から変更ありません。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の算定方法

一部の連結子会社の税金費用は簡便な方法で計算しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計方針の変更)

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。なお、従来の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③ 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

(追加情報)

従来、投資有価証券の運用による財務損益は営業外損益として捉える一方、投資有価証券評価損は臨時的な損失として特別損失に計上しておりましたが、投資有価証券運用方法が多様化してきたこと、また、世界的な経済情勢の変化による影響が投資有価証券評価損として発生する可能性があることを勘案し、経常的に発生する金額については、原則として営業外費用として計上することといたしました。

なお、当第1四半期において営業外費用に計上した投資有価証券評価損の金額は300百万円であります。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,418	5,411
受取手形及び売掛金	2,846	5,879
有価証券	5,461	4,646
商品	95	64
製品	225	346
原材料	99	104
仕掛品	366	256
その他	2,278	2,392
貸倒引当金	△26	△24
流動資産合計	15,766	19,076
固定資産		
有形固定資産	10,797	10,883
無形固定資産	261	280
投資その他の資産		
投資有価証券	34,041	30,253
その他	3,734	4,088
投資その他の資産合計	37,775	34,341
固定資産合計	48,835	45,505
資産合計	64,601	64,582

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	623	1,126
短期借入金	850	-
未払法人税等	468	1,926
賞与引当金	206	457
役員賞与引当金	6	27
返品調整引当金	140	207
その他	3,406	1,746
流動負債合計	5,701	5,492
固定負債		
長期借入金	10	10
役員退職慰労引当金	421	417
退職給付引当金	424	419
その他	169	186
固定負債合計	1,025	1,034
負債合計	6,727	6,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,090	9,090
資本剰余金	12,548	12,548
利益剰余金	40,872	41,784
自己株式	△1,720	△1,719
株主資本合計	60,791	61,704
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,654	△2,452
土地再評価差額金	△1,841	△1,841
為替換算調整勘定	△145	△74
評価・換算差額等合計	△3,641	△4,368
新株予約権	87	68
少数株主持分	637	650
純資産合計	57,874	58,055
負債純資産合計	64,601	64,582

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

		当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高		5,481
売上原価		3,021
売上総利益		2,459
販売費及び一般管理費		1,411
営業利益		1,047
営業外収益		
受取利息		501
投資有価証券売却益		302
為替差益		274
その他		229
営業外収益合計		1,307
営業外費用		
投資有価証券評価損		300
その他		39
営業外費用合計		340
経常利益		2,014
特別損失		
関係会社出資金評価損		17
特別損失合計		17
税金等調整前四半期純利益		1,997
法人税、住民税及び事業税		528
法人税等調整額		333
法人税等合計		861
少数株主利益		29
四半期純利益		1,106

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## (要約) 前第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
I 売上高	4,413
II 売上原価	3,163
売上総利益	1,249
III 販売費及び一般管理費	1,241
営業利益	8
IV 営業外収益	2,138
1 受取利息	558
2 投資有価証券売却益	1,023
3 為替差益	246
4 その他	310
V 営業外費用	1
1 その他	1
経常利益	2,145
VI 特別損失	73
税金等調整前四半期純利益	2,071
法人税、住民税及び事業税	408
法人税等調整額	393
少数株主利益	19
四半期純利益	1,249



## 6. その他の情報

## 販売の状況

(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	前第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	当第1四半期 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
パソコンソフト	232	211
家庭用ビデオゲームソフト	2,617	3,555
オンライン課金・携帯	710	930
出版	332	187
CD等	144	116
ロイヤリティ	283	176
その他	91	302
合 計	4,413	5,481